

荻窪の記憶Ⅲ

南荻窪・宮前 100 年の歴史



現在の南荻窪



宅地化される以前の南荻窪（昭和初年）
「武州多摩郡上荻久保村風景変遷誌」より転載



南荻窪の洋館
国登録有形文化財 古宇田家住宅



宮前の大根畑（戦前）
写真提供 小野実氏



宮前の生産緑地

戦前の洋館や屋敷林が郊外住宅地の面影を伝える南荻窪、
生産緑地が武蔵野の新田開発を偲ばせる宮前、
二つの町に刻まれた記憶をたどります。

令和2年 6月13日（土）～ 8月23日（日）



杉並区立郷土博物館
Suginami Historical Museum

分館

杉並区天沼 3-23-1（天沼弁天池公園内） JR・東京メトロ丸ノ内線「荻窪駅」北口から徒歩 10 分
問合せ Tel:03-5347-9801

荻窪の記憶Ⅲ 南荻窪・宮前 100年の歴史

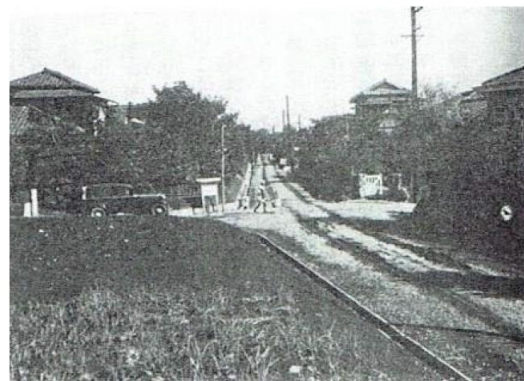


南荻窪・宮前の立地

- 南荻窪・宮前ゆかりの人々
- 文学者
阿部知二 尾崎喜八 片岡鉄兵
田村泰次郎 戸川秋骨 南洋一郎
長谷川四郎 前田夕暮
与謝野鉄幹 与謝野晶子
- 芸術家
阿部合成 恩田秋夫 長谷川湊二郎
水上信雄 吉井淳一
文化人・芸能人
石黒敬七 九条武子 金春信高
清水幾太郎 中羽羽後 安井郁
遠藤実 菅原文太 丹波哲郎
- 政治家
山田久就 須磨弥吉郎
橋田邦彦 岩村通世



与謝野晶子と鉄幹
(南荻窪の自邸前にて)
堺市博物館蔵



『井荻町土地区画整理組合事業誌』より転載

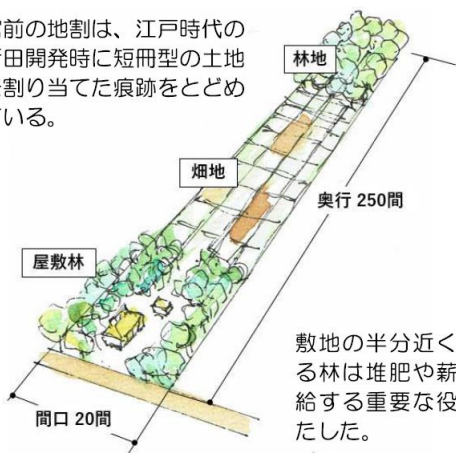
井荻町の土地区画整理完了後の南荻窪(昭和初期)



写真提供 光森一誠氏

昭和九年の南荻窪。住宅の裏は一面の大根畑で、沢庵工場もあった。

宮前の地割は、江戸時代の新田開発時に短冊型の土地を割り当てた痕跡をとどめている。



敷地の半分近くを占める林は堆肥や薪炭を供給する重要な役割を果たした。



大宮前郷土芸能保存会

宮前の春日神社の例大祭では、江戸時代からつづくお囃子と里神楽が、地元有志によって、いまも演じられている。

【ご来館される方へのお願い】

- ・発熱や咳など風邪の症状がある方、体調がすぐれない方はご来館をお控えください。
- ・来館時はマスクの着用をお願い致します。
- ・入館時に手指の消毒や手洗いをお願い致します。
- ・館内では2メートル程度、人と人との間隔をあけてください。
- ・入場の制限を行う場合がありますので、ご協力ください。

場所：杉並区立郷土博物館分館 西棟 1階展示室
杉並区天沼 3-23-1 (天沼弁天池公園内)
JR・東京メトロ丸ノ内線「荻窪駅」北口から徒歩 10分
※車でのご来場はご遠慮ください

開館時間：午前9時～午後5時

観覧料：無料

休館日：毎週月曜日・毎月第3木曜日(祝日の場合は開館し、翌日が休館)

問合せ：Tel 03-5347-9801

H P : www.city.suginami.tokyo.jp/histmus/

